

自己紹介

宮本 強藏（九州支部）

鹿児島島の宮本です。日生協を離れて35年、奥さんからは「終活、終活」と責められている日々ですが、親しい友人がポツポツと亡くなる穴を埋めるには新しい出会いが必要と今回、九州支部からのお誘いを受け「友の会」へ入会させて頂くこととしました。よろしくお願いします。



写真の地域猫さん（元飼い猫？）は、退職後の日課となりました散歩の途中で最近挨拶を頂くようになった方です。走ってきて、ドテッと寝転がるので、おなかとアゴを搔いてあげると満足して帰っていかれます。

私は1982年にかごしま県民生協（当時）から、地連の前身組織として活動されていた「九州生協協議会」に派遣されましたが、故障者リスト入りして九州支所の非食品課にトレードされました。

当時は商品のバーコード管理開始や、共同購入の拡大期で支所も非常に勢いのある時期でしたが、個人的には暖房器具・ひな人形・包丁・キャラクターティッシュ etc と欠品を乱発し、学協支所までも支えられての支所生活、今も感謝の念に堪えません。また、酒の紙パック化やコアノンの普及時期でもあり、特にコアノンは当初は紙繊維の調整がうまくいかず、横ではなく縦に裂けがちで、今も見るたびに「君はクレームが多かったよな」と思い出されます。

子供等が就学の時期を迎えたため1989年に鹿児島島に帰り、物流センター、総務、監事会事務局等を経て、生協を退職しました。

現在は鹿児島県労連で大阪の元町議と「労働相談」を担当しています。相談先との団体交渉では「ユウキュウって何ですか？」から「終業時間は決めていなくても、平均賃金の6割以上払っているから違法ではない」という事業主まで色々で、おまけに相方は「君はこまごま言うから要求がわからんようになる、バーンと要求や」と言う割には「最近、耳が遠くなって相手の言うことが聞こえなかった」という方なので、どれだけ役にたっているかは不安なのですが、当面引継ぐ若手がいないので、しばらくは頑張る予定です。